

人・農地プラン アンケート集計 馬見・下郷

広陵町役場 地域振興課

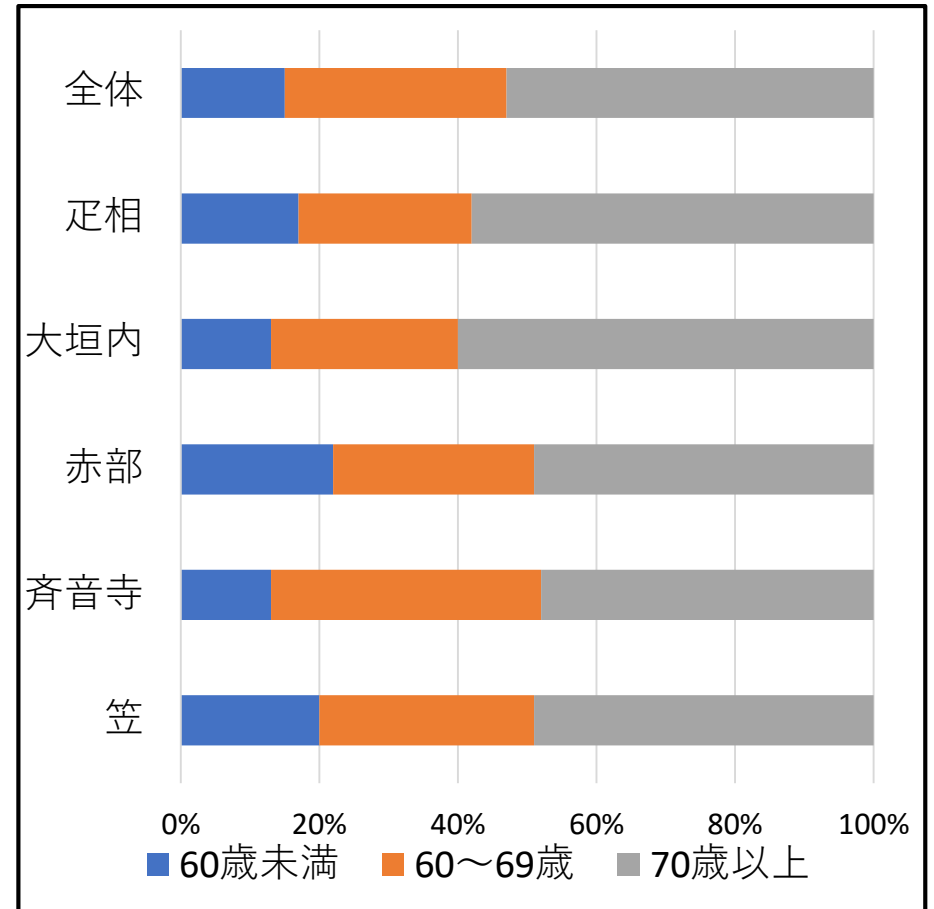
年齢構成について

町全体における各年齢の構成比

60歳未満	15%
60～69歳	32%
70歳以上	53%

足相地区及び大垣内地区では、70歳以上の方の割合が6割近いものとなっており、他の地区よりも農業者の高齢化が進んでいる。

赤部地区、斉音寺地区及び笠地区では、69歳以下の方の割合が5割を超えているが、いずれの地区でも、60～69歳の方の割合が大きくなっており、今後、急速に農業者の高齢化が進行すると思われる。



耕作状況について

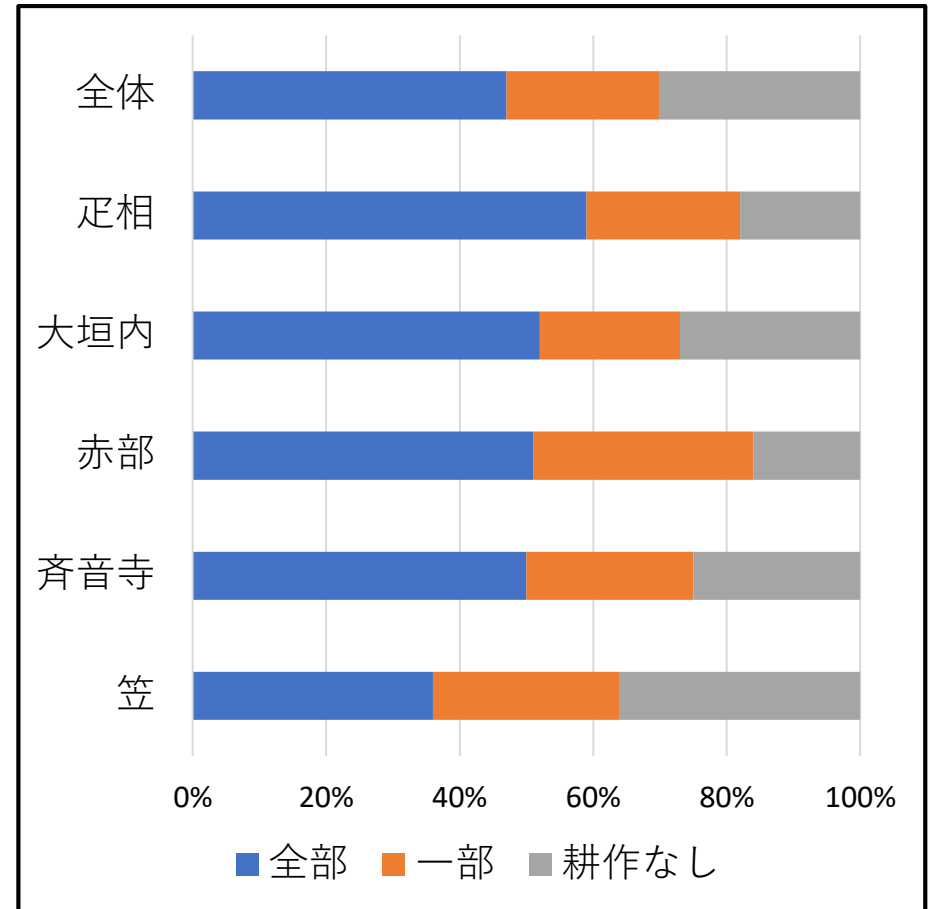
町全体の耕作状況の構成比

全部自作している	47%
一部自作している	23%
耕作していない	30%

足相地区及び赤部地区は、一部でも耕作している方の割合が高く、約8割の農業者が耕作を行っている。

また、足相地区は、地区全体が市街化区域であるものの、所有する農地を全部自作している方の割合が最も高くなっている。

笠地区の耕作をしていない方の割合は、町全体の割合より高くなっており、また、全部自作している方の割合は下郷地区で一番低くなっている。



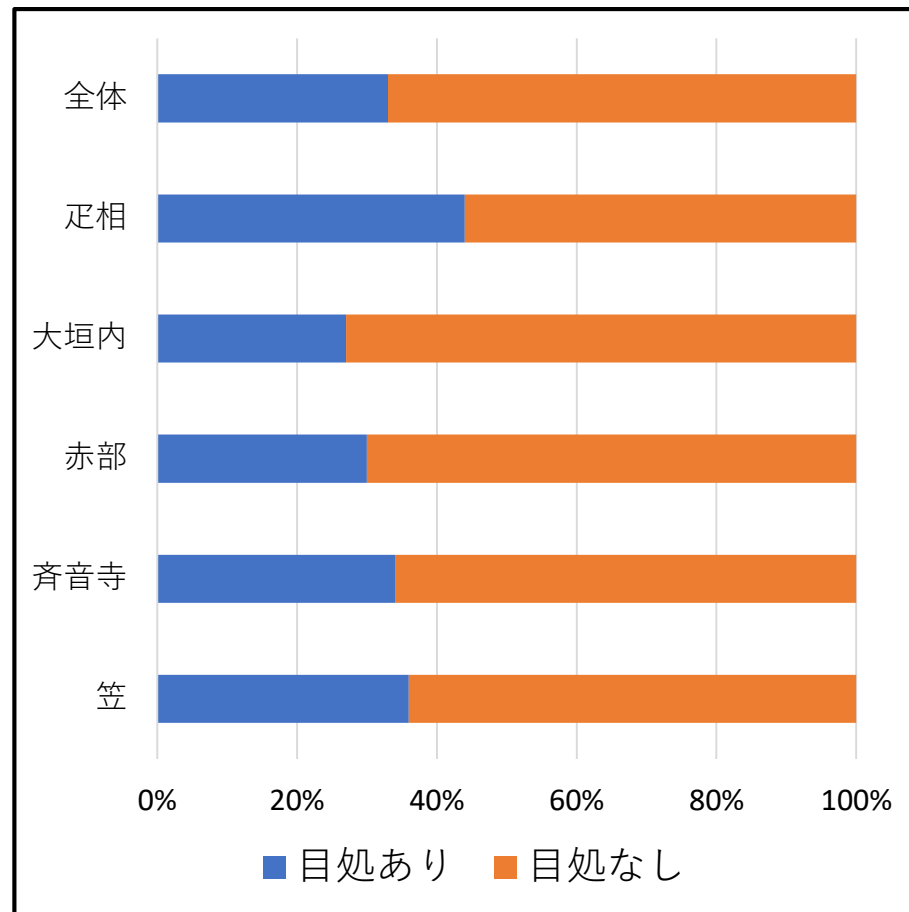
後継者について

町全体における後継者の状況

後継者の目処あり 33%

後継者の目処なし 67%

足相地区以外では、後継者の目処がない方の割合が6割を超えており、特に大垣内地区、赤部地区では7割を超えている。



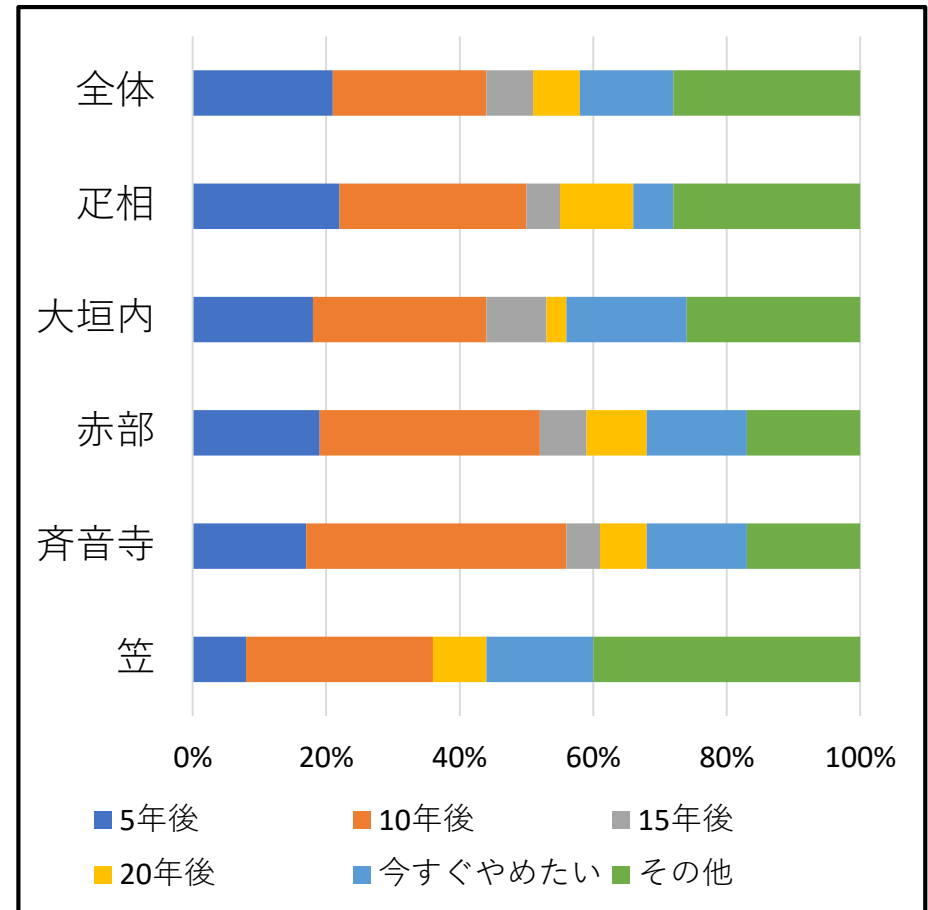
営農継続期間について

町全体における営農継続期間の状況

5年後まで継続	21%
10年後まで継続	23%
15年後まで継続	7%
20年後まで継続	7%
今すぐやめたい	14%
その他	28%

足相地区は、全体の状況から大きく変わらないが、大垣内地区、赤部地区及び斉音寺地区においては、10年以内に営農終了を考えている方の割合が60%を超えている。

笠地区においては、「今すぐやめたい」も含めた10年以内に営農終了を考えている方の割合が50%程度であるが、40%が「その他」と回答しており、「すでにやめている」等の記載があった。



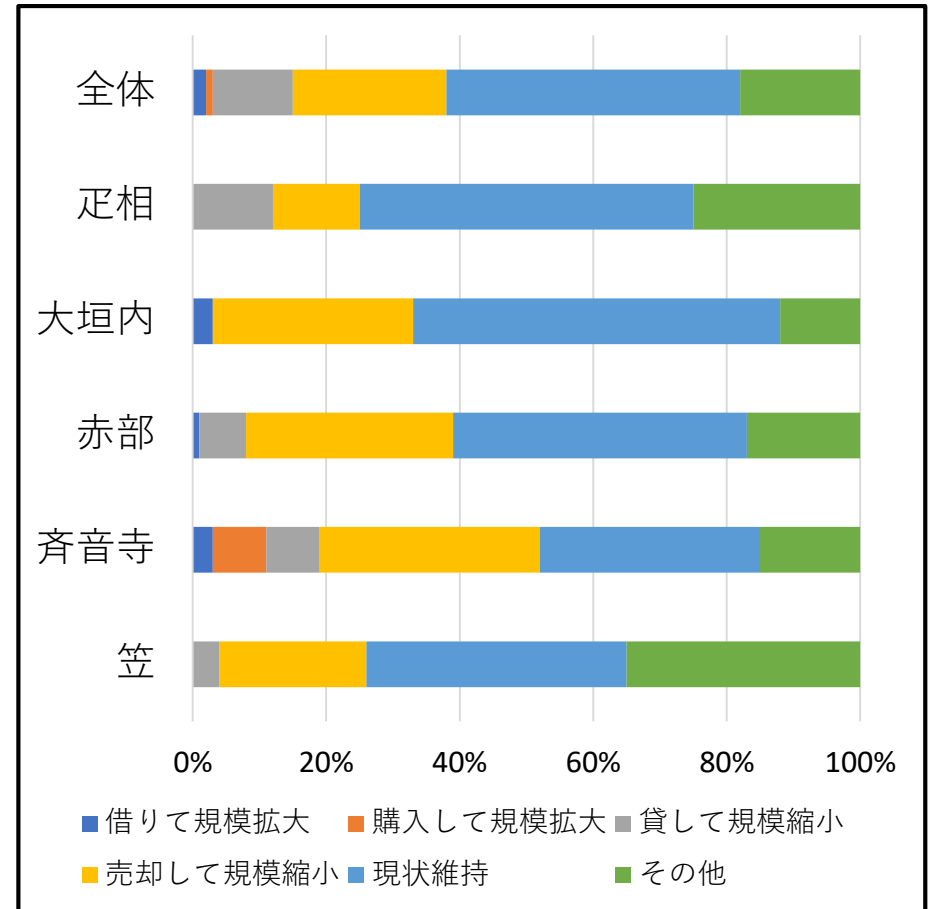
将来的な営農規模について

町全体における営農規模の状況

借りて規模拡大	2%
購入して規模拡大	1%
貸して規模縮小	12%
売却して規模縮小	23%
現状維持	44%
その他	18%

大垣内地区、赤部地区及び斉音寺地区でわずかに規模拡大の意向はあるものの、全ての地区で、規模縮小または現状維持の回答の割合が多い。

足相地区については、全てが市街化区域となっているが、現状維持の意向の方が多い状態となっている。



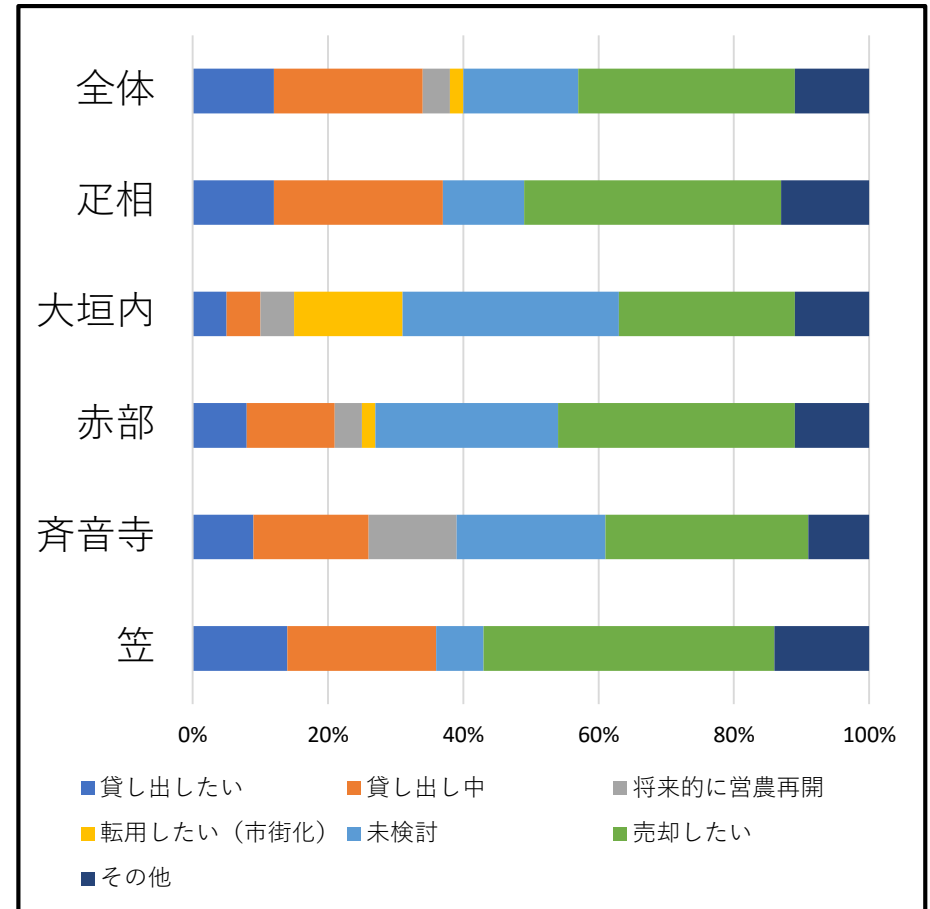
耕作していない農地について

町全体における耕作していない農地の意向

貸し出したい	12%
貸し出し中	23%
将来的に営農再開	4%
転用したい（市街化区域）	2%
未検討	16%
売却したい	32%
その他	11%

足相地区及び笠地区では、貸し出し中と売却したいの割合が高くなっており、笠地区の売却したいの割合は4割を超えている。

大垣内地区、赤部地区及び斉音寺地区では、未検討の割合が高くなっており、大垣内地区では3割を超えている。



集落における農業の発展について

集落の農業の発展において必要なものの状況

農地の集約	30%
鳥獣害対策の実施	4%
農地等の基盤整備	15%
高収益作物の作付	6%
新規就農者の育成	4%
集落営農による外部人材雇用	13%
その他	28%

いずれの地区においても、農地の集約が必要であると考えている方の割合が多い。

斉音寺地区では、集落営農による外部人材雇用の割合が高い結果となっている。

